

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 358

事務事業名	間伐等森林整備促進事業	
基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040105	魅力ある農林水産業の振興
施策		林業の振興
関連施策		

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農林整備課		
課長名	松崎 文彦	内線	267
担当者名	下村 大介	内線	254

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画	大村市森林整備計画	
重点事業		

会計	一般		
款	6	農林水産業費	
項	2	林業費	
目	2	林業振興費	
事業コード	150000	間伐等森林整備促進事業	

【PLAN(計画)】

対象(者)	長崎南部森林組合		
意図	高性能林業機械を導入することにより、林業の担い手である森林組合の間伐材生産における作業員の安全性や身体的な負担軽減と作業の効率化を図るため。高性能機械をうまく組み合わせることにより、間伐材の生産性を上げ間伐経費のコストダウンを図り、森林所有者の負担を軽減して計画的な間伐実施を推進する。		
事業概要	長崎南部森林組合は、平成28年から平成32年まで10台の林業機械を購入予定しており、機械購入費の25%を長崎市、諫早市、大村市、西海市、長与町、時津町の4市2町共同で補助を行なっています。平成28年度はグラップル付フォワーダ1台・プロセッサ1台の購入分の補助を行う予定。		
事業期間	平成 19 年度	～	平成 年度
根拠法令、要綱等	実施方法 補助		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 高性能機械の導入台数(台/年)	計画値	2	1	1	2	H28年4月以降に国の補助内容が決定するため、9月補正対応予定。
		実績値	2	1	1		
	(導入計画に基づく台数)	達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
		達成度	%				
成果指標	① 木材市場等への出荷量	計画値	4,500	4,500	4,500	4,500	H26年度までは造林事業を対象とし、H27年度から全素材生産出荷量に変更する。
		実績値	4,824	6,462	7,047		
	(市内の年間素材搬出量)	達成度	107.2%	143.6%	156.6%		
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	438	248	204	0	4,465	4,465	4,465	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	438	248	204	0	4,465	4,465	4,465	
② 人件費(千円)	960	917	1,058	1,101	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.12	0.12	0.15	0.15	高性能林業機械購入の補助を行う。	高性能林業機械購入の補助を行う。	高性能林業機械購入の補助を行う。	
時間外勤務(時間)	3	5		5				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	1,398	1,165	1,262	1,101				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年度でグラップル付フォワーダ1台を購入。また、H28年度機械導入については、9月補正で対応予定。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	長崎南部森林組合は長崎市、諫早市、大村市、西海市、長与町、時津町における林業の担い手の中心である。そのため、関係市町と連携を取り、組合の機能強化、組織の充実を図ることは、林業経営の安定と森林所有者の負担軽減を図り、地域林業の活性化のために必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	林業従事者の高齢化、木材価格の低迷などにより山林が荒廃しつつある中、森林組合の役割は大きく、組合経営の安定と森林所有者の負担軽減は、森林の公益的機能に大きく寄与するため、市の関与は不可欠である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	高性能林業機械の購入により、木材出荷量は目標値を上回りその後の出荷量は増加している。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	森林組合への機械導入助成は、地域林業の担い手である組合の経営安定と林業従事者の確保に有効であり施策に大きな効果がある。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	負担割合は長崎県南部森林組合連絡協議会において、県、関係市町との協議によって決定されたものである。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	間伐経費のコストダウンを図り、木材出荷量を増やすためには、機械導入は必要であるため、平成28年度以降も導入計画に基づき助成を行う。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。